

議題（１）

前回の協議会の振り返り

「安定・効率輸送協議会(3部会合同会合)」の結果概要

1. 安定・効率輸送協議会について

日時：令和5年6月30日（金） 9：30～11：00 場所：オンライン

2. 議事概要

- 国土交通省海事局（以下、海事局）より、今後の本協議会等のスケジュールについて、各部会（3部会）を8～9月に、ハイレベルによる懇談会を10月頃に開催できるよう、各団体と日程調整等を進めていく旨説明。【資料2】
- 海事局より、改正内航海運業法、ガイドラインの事項を実施していく「内航アクションプラン」の作成趣旨を説明。
- 日本内航海運組合総連合会（以下、内航総連）や、日本鉄鋼連盟、石油連盟及び石油化学工業協会（各荷主団体）より、「内航アクションプラン」の取組状況について説明。内航総連からは、特にオペレーター（運航事業者）とオーナー（船主）ともに、働き方改革に関する取組を進めている旨、荷主団体からは、特に生産性向上・業務効率化等に向けた取組に努力している旨発言があった。【資料3】
- 内航総連より、昨年度の内航海運の取引環境・生産性向上・事業承継等に関するアンケート調査概要について説明。主な契約形態区分である「定期用船契約」、「運送契約」とともに、条件取り決め時の話し合いはほぼ実施されているものの「コスト反映不十分」とする回答が3割強あった。また、船員の労働時間について管理できているとの回答は約8割、このうち半数近くは電子的方法で管理できている旨回答があった。【資料4】
- 海事局より、昨年度の内航海運業における先導的なモデル事業について、先進的技術を活用したことによる船主の作業時間を短縮できた事例や複数の荷主と連携した海上輸送による総輸送時間の短縮、輸送によって生じる環境負荷（CO₂排出量）の削減に繋がった事例等について説明。【資料5】
- 内航総連より、今後の協議会等の進め方について、貴重な機会が少しでも有益なものとなるよう、関係者と、協議する内容やスケジュール感をよく相談しながら対応していく旨発言があった。